



2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社メタルアート
代表者名 取締役社長 友岡 正明
(東証スタンダード市場 コード 5644)
問合せ先 常務取締役 武田 正臣
(TEL 077-563-2111)

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び

通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、2022年8月12日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表いたしました同実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想を修正するとともに、本日開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）について決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異

(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,600	1,200	1,250	830	274.52
実績値 (B)	20,100	1,605	1,645	1,072	354.86
増 減 額 (B-A)	500	405	395	242	
増 減 率 (%)	2.6	33.8	31.7	29.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	15,761	1,454	1,504	991	328.09

(2) 2023年3月期通期連結業績予想値の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,600	2,120	2,200	1,390	459.73
今回発表予想 (B)	43,600	2,800	2,880	1,870	618.49
増減額 (B-A)	6,000	680	680	480	
増減率 (%)	16.0	32.1	30.9	34.5	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	35,010	3,206	3,308	2,215	732.78

(3) 差異及び修正の理由

2023年3月期第2四半期連結累計期間における業績は、半導体不足や新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい事業環境を想定した計画に対し、売上高が予想を上回りました。

損益面でも売上の増加及び原価低減の効果、資源価格高騰の一部製品への価格転嫁により、各利益とも予想を上回りました。

また、2023年3月期通期連結業績予想につきましても、さらなる資源価格の高騰、急激な円安の進行等依然として不透明な状況が続くと予想されますが、第2四半期と同様の理由により修正することにいたしました。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は今後の様々な要因によって変更する場合があります。

2. 剰余金の配当 (中間配当) について

(1) 2023年3月期 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年8月12日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2022年9月30日	2022年9月30日	2021年9月30日
1株当たり配当金額	30円00銭	30円00銭	30円00銭
配当金の総額	90百万円	90百万円	90百万円
効力発生日	2022年12月6日	2022年12月6日	2021年12月7日
配当原資	利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金

(2) 理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を重要な経営目的の一つであると考え、安定した配当の実施を基本とし、業績と企業体質の強化を総合的に勘案して配当内容を決定することにしております。その上で、株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、中間配当及び期末配当の年2回の配当を基本的な方針としております。

このような方針のもと直近の業績動向を含めて総合的に検討した結果、2023年3月期の中間配当につきましては、1株当たり30円00銭に決定いたしました。

なお、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当 (期末配当金) については未定です。

以上